

新連載

未来に響け 心と心のハーモニー♪

～平塚市民合唱サークル活動紹介①～

女声合唱団コール・マリンプルー

もっともっと歌って～どんな声でも良いです
もっともっと笑って～どんな事でも良いです
もっともっと愛して～どんな愛でも良いです
今、全てに、体一杯感じて、心から唄おう。
すばらしい毎日が、生まれることでしょう。
歌の日第一二三金曜日 午前 崇善公民館
連絡先 電話 0463-21-6382 水上



まどかコーラス

私達まどかコーラスは、発足して49年になります。現在、歌の大好きな40代から70代まで幅広い年齢層の32名が、毎週金曜日の午前中に青少年会館で練習しています。今年は11月15日(土)に平塚市民センターにおいて第15回定期演奏会を行う予定です。第1から第3ステージの曲目はほとんど決まっていますが、第4ステージはただ今構想中です。皆さんに喜んで頂けるステージにしたいと思い、日々皆で試行錯誤を繰り返しています。どんなステージになるか未定ですが、今までと一味違う「まどか」をお見せしたいと思えます。

連絡先 電話
0463-36-1866 仲秋



平塚市民の合唱への意識は、今、地道に、そして着実に高まりをみせています。現在、平塚市内には、数多くの合唱サークルがあり、活発に活動しています。また、「市民合唱祭」や「第九のつどい」、そして今年12月に実施される「市民オペラ」でも、市民の皆さんに積極的に参加をいただいています。合唱を通じてひらつかの未来を創る、「合唱のまち」を担う市民合唱サークルの活動を、これから毎号、数団体ずつ紹介してまいります。ご期待ください。

ポコ・ア・ポコ

昭和49年1月に結成されました女声コーラスです。当時より支えて下さっている方が3名おります。様々な理由で団員数も心細い人数になっておりましたが現在は21名になりました。指揮者野内先生は本が大好きだそうで博識でいらっしゃいます。そしてお話も大好きで練習を脱線する事もしばしば。ユーモアあふれる話で笑い一杯です。そして少しの厳しさも…… 少し体調を崩されましたが音楽への情熱は更に熱くなられた様に感じられます。私達も先生にえられる様励んでおります。歌の好きな方は是非一度見学にいらして下さい。

連絡先 電話
0463-21-4157 原田



アルデンツァ

ARDENZA (アルデンツァ) とは、イタリア語で「熱心な」という意味です。私たちはその名に励まされ、年齢不詳とも思えるほど若々しい大川先生のご指導の下、アカペラのハーモニーの美しさ、楽しさに魅せられて、結成11年になりました。個性の強い各々の声、一つに融合された瞬間の幸福を感じながら、崇善公民館を中心に、火曜日の午前中、練習に励んでいます。歌声も、笑い声もはじける私たちの楽しい練習風景を、是非ご覧下さい。見学大歓迎です。

連絡先 電話
0463-58-7620 小林



「まちの小さな演奏会③」

今回は落語会を取り上げました

～小さいけれどダイヤのようにキラリと光る「まちの演奏会」を紹介します～

第65回 錦寿司 落語会

4月5日(土)午後6時30分、楽志亭生コト山口宣秀さんと気楽亭小生コト山田見弦さんによる落語会が錦寿司2階で開かれ、およそ40名の観客が古典落語を堪能しました。今回で65回を数えるこの落語会は、11年前からおよそ年6回定期的に開催されています。

山口宣秀さんは、前富士見郵便局長で落語を通じた文化・福祉活動で市内でも有名人です。山口さんと落語との出会いは、大学時代、人見知りの性格を克服しようとい念発起したのがきっかけで、家族が落語好きという環境も手伝い、独学で今や演じた噺は125を数えるそうです。錦寿司で落語会を始めるようになったのは、郵便局長時代、七夕期間中に切手の出店を錦寿司の近くで行っていたのが縁で、おかみさんや落研出身の息子さんの好意により実現できたとのこと。印象に残る思い出として、大雨で3名



しかお客が来なかった時もあったと話してくれました。

山田見弦さんは現役のバスの運転手。中学の時に自ら落語部を作ったほどの落語好きで2年位前にたまたま新聞で山口さんの記事を読んだ

ことがきっかけとなり、第50回の落語会から参加することになりました。落語で大事なのはお客様との呼吸です、と話す山田さんは、自分の落語をビデオに撮ったりしながら、日々稽古に励んでいるそうです。

次回は6月14日(土)に予定されています。大勢のお運びを!!

